

臨床検体使用に関するお知らせ

『研究課題名 鼠径ヘルニア術後アンケート調査』

【研究の背景および目的】

鼠径ヘルニアはとても多い疾患で、治療方法は手術であることが知られています。しかしながら、術後の長期経過は、患者様が高齢な方が多いこともあり、情報収集が不十分な可能性があります。

そこで、東邦大学医療センター大森病院総合診療・急病センター外科では、手術そのものの研鑽に加えて、術後を更により良い状態とすることを目的として本研究を計画しました。この研究で得られる成果は、今後の鼠径ヘルニアの手術治療の改善につながります。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得ております。

2009年～2018年までに東邦大学医療センター大森病院総合診療急病センター外科において、片側の鼠径ヘルニア(内鼠径ヘルニアと外鼠径ヘルニア)の手術(ある種類の人工膜使用に限定しています)を受けた症例(約800例)を対象とします。

診療録(カルテ)から抽出した病態とともに解析することにより、術後の痛みの状態を把握し、影響を与える因子を調査し術後疼痛の改善を検討します。

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院
総合診療・急病センター 外科
職位・氏名 助教 本田善子
電話 03-3762-4151 内線 6510